

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2001-109700(P2001-109700A)

【公開日】平成13年4月20日(2001.4.20)

【出願番号】特願平11-287290

【国際特許分類】

G 06 F 13/14 (2006.01)  
G 11 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 06 F 13/14 3 2 0 A  
G 11 B 20/10 D  
G 11 B 20/10 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月17日(2006.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

ステップST9では、Sample\_PDIAG-Stateに遷移して、ステップST10からの処理によってスレーブ側で終了した自己診断結果の判別を行う。ステップST10ではPDIAG-信号がアサートされているか否かを判別する。ここで、PDIAG-信号がアサートされていると判別されていないときにはステップST11に進み、経過時間Tpが450ms以内であるか否かの判別を行い、経過時間Tpが450ms以内であるときにはステップST10に戻り、引き続きPDIAG-信号がアサートされているか否かの判別を行う。また、経過時間Tpが450msを超えるとステップST12に進み、経過時間Tpが31秒以内であるか否かの判別を行う。ここで、経過時間Tpが31秒以内であるときはステップST10に戻り、経過時間Tpが31秒よりも大きくなったときには、スレーブ側は存在するが自己診断結果は異常と判別されて、ATAインターフェース制御回路401におけるエラーレジスタのビットb7を「1」に設定することで、スレーブ側は異常であることが示されてステップST14に進む。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】

## デバイスポジションの割り当て処理(2/2)

